令和5年度第1回佐久医療圏地域医療構想調整会議 要旨

1 日時

令和5年9月1日（金）午後6時30分から午後8時10分まで

2 場所

佐久合同庁舎講堂

3 出席者

(1) 委員

坂口委員、雨宮委員、浅川委員、土屋委員、小松委員、今牧委員、島崎委員、古田委員、村杉委員代理出席、橋本委員、渡辺委員、宮田委員、酒井委員、金澤委員代理出席、黒澤委員、雨宮委員、箕輪委員、由井委員、植竹委員、稲葉委員、清水委員、小林委員、大森委員、工藤委員、井出委員、中島委員、今井委員、依田委員、山口委員、菊池委員、浅川委員、荻原委員、鷹野委員（欠席2名）

(2) 事務局

健康福祉部医療政策課 社本企画幹兼課長補佐、浅川主任、井口主事
佐久保健福祉事務所 小松所長、荒井副所長 他

4 会議事項

(1) 地域医療構想における対応方針について

- 事務局から資料1-1に基づき説明。
- 各病院の対応方針についてそれぞれの医療機関から資料1-2に基づき説明。
- 各有床診療所の対応方針について事務局から資料1-2に基づき説明。
- 主な補足説明、意見等は、以下のとおり。

【橋本委員】

- ・当院では回復期31床を地域包括ケア病棟から回復期リハビリ病棟に変更する準備をしており、また、急性期203床のうち47床を急性期に重点を置いた地域包括ケア病棟に変える予定。
- ・医師の不足、医師の高齢化が課題であり、当直可能な医師が確保できず、急性期医療を維持することが難しくなってくるおそれがある。また、看護師の確保も懸念している。

【箕輪委員】

- ・医師が足りないところに医師を配置するように県にお願いしたい。

【植竹委員】

- ・医療従事者を確保することが重要。

【渡辺委員】

- ・就労人口が減る中、医療従事者の確保や他の医療機関との連携が重要。

【宮田委員】

- ・当院では3次医療を担当してきたが、地域の状況を踏まえ、2次や2次と3次の間の医療も担当するように考えている。

【由井委員】

- ・南佐久では高齢者人口が横ばいから減少傾向にあり、在宅医療のニーズも半分ほどになっているため、病床のあり方を考える必要があるが、大都市で医療、介護が必要な高齢者が爆発的に増える中、医療、介護を受けるために地方に高齢者が移ってくる可能性があり、地元のニーズだけで医療を減らしていいのか慎重に考える必要がある。

- ・診療報酬上の取扱いも先々どうなるか不透明であり、先が見通せない部分もある。

【清水委員】

- ・病床を減らすだけでは地域医療は回っていかない。医師不足・偏在等の問題を踏まえた対応が必要。都市部の医師を地方にいかに戻すか等の根本的な課題が改善されれば、地方の医師が増えてくるはず。

【稲葉委員】

- ・医師、看護師不足があり、医療従事者以外の職員の協力を含めた対応を検討している。

【酒井委員】

- ・病床を減らすことになるが、地域のニーズに応じる体制としている。

- 各医療機関の対応方針について、許可病床数の増加に伴う部分を別途協議することとした上で了承された。

(2) 紹介受診重点医療機関の選定について

- 事務局から資料2に基づき説明。
- 佐久医療センターから紹介受診重点医療機関に指定されれば、それに沿って診療していく旨の補足説明。
- 質疑、意見等は出されなかった。
- 佐久医療センターを紹介受診重点医療機関として選定することについて了承された。

(3) 第8次長野県保健医療計画について

- 事務局から資料3に基づき説明。
- 主な質疑、意見等は、以下のとおり。

【箕輪委員】

- ・高度医療の病院と地域包括ケアの病院をはっきり区分けするとあるが、外科手術をしたり救急患者を受け入れたりする二次医療、二次救急を担当する医師がいなくなってしまうのではないかと心配している。

(事務局)

- ・新潟県の事例で二元的に見えるが、地域の実情を踏まえて県としての考え方を整理したいと考えている。

【雨宮委員】

- ・新型コロナの発生によって病床の考え方はどのように変わったか。ランドデザインの中ではどうか。

(事務局)

- ・新興感染症については事前に協定を締結することになっている。これまで地域医療構想には感染症のことが入っていないが、地域医療構想は平時の体制として、感染症発生時は協定に基づく体制と整理されている。
- ・ランドデザインを進めるに当たって、平時から感染症のことも念頭におくこととしており、ご意見を踏まえて県としての対応を考えていきたい。

【橋本委員】

- ・医師は、9割以上が高度医療を担う専門医を志向しており、地域包括医療を支える医師の養成が不十分。ジェネラリストの医師をどう育てるか、地域として考えていく必要がある。

(事務局)

- ・県でも医師確保計画を検討しており、その中でご意見の内容についても考えていきたい。

(4) 佐久保健所個別議題

1) 平日夜間診療所の再開に向けた佐久医師会、小諸北佐久医師会への協力要請について

○佐久広域連合から説明。

- ・現在、平日夜間診療所が休止となっているが、令和6年4月の再開に向けて検討を進めており、関係の皆様のご協力をお願いしたい。

○主な質疑、意見等は、以下のとおり。

【由井委員】

- ・佐久地域が広域なので1か所では厳しいと思うが、設置の数や場所をどのように考えているか。

(事務局)

- ・それらを含めて検討を進めている。設置後も課題を踏まえて検討を続けていく予定。

2) 病院群輪番制検討会議の開催について

○佐久広域連合から説明。

- ・11病院による病院群輪番制を運用しているが、現在、そのあり方について検討しており、関係の皆様のご協力をお願いしたい。

○質疑、意見等は出されなかった。

3) 上手な医療のかかり方普及啓発事業について

○佐久広域連合から説明。

- ・医師の働き方改革に合わせて医療のかかり方に関する市民啓発を考えており、県の元気づくり支援金を活用した事業を検討しているので、関係の皆様のご協力をお願いしたい。

○質疑、意見等は出されなかった。

(5) その他

1) 医師の確保について

【清水委員】

- ・医師の働き方改革に向け、過重労働だった医療の現場から医師が去りつつある。今回の計画を実現するためにも医師の確保が必要であり、大学等の教育機関や県行政にさらに御尽力いただきたい。

(事務局)

- ・県の中でも検討していきたい。

5 その他

- ・今回は、10月から12月の開催を予定(事務局)。

以上